

第57回鹿児島県高等学校新人空手道競技大会 (全国選抜九州地区大会予選) 要項

- 1 主催 鹿児島県高等学校体育連盟・鹿児島県教育委員会
- 2 後援 公益財団法人鹿児島県体育協会・公益財団法人全空連鹿児島県空手道連盟
- 3 主管 鹿児島県高等学校体育連盟空手道競技専門部
- 4 期日 令和4年10月14日(金)・15日(土)
集合 8時45分 開始 9時15分
- 5 会場 鹿児島県総合体育センター体育館
- 6 競技規定 公益財団法人全日本空手道連盟競技規定並びに審判規定
全国高等学校体育連盟空手道専門部規定
- 7 競技方法 第1日目 個人形(第1R, 第2R, 順位決定戦), 団体形(予選・決勝), 団体組手5人制
第2日目 団体組手3人制, 個人組手
- 8 引率・監督 (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(地方公務員法第22条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届けること。
【参考】引率が認められる職員とは、校長・教頭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・講師(常勤)・部活動指導員・実習助手である。ただし、実習助手については、以下の条件を全て満たし、校長が承認した者である。
 - 1 正規職員であること
 - 2 当該部活動の指導を常時行っていること
 - 3 教員免許状の普通免許状を有していること又は免許法認定講習等で生徒指導に関する単位を1単位以上取得し、かつ6年以上の勤務経験があること(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
但し、(2)について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。
- 9 参加資格 (1) 2022年度県高体連加盟校在籍学生で1・2年生に限る。但し、休学中・留学中の生徒は除く。
(2) 年齢は平成16(2004)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(「合同チーム参加届け」を提出すること。)
(5) 離島における特別支援学校高等部支援教室(以下「支援教室」という。)とその設置高等学校(以下「設置校」という。)は、特例として下記により合同チームでの大会参加を認める。(合同チーム参加届けを提出)
ア 加盟校ではない特別支援学校の支援教室の場合は、大会開催基準要項における参加資格の特例、大会参加資格の別途に定める規定並びに本連盟細則第13条に従い大会参加を認める。
イ 合同チームはオープン参加とし、上位進出しても順位はつかない。上位進出した際は下位チームの順位を繰り上げる。

- (6) 転校・転籍後6か月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。
(「大会出場許可申請書」を提出すること。)
- (7) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (8) その他の事項については、上位大会実施要項に準ずる。
- (9) 参加資格の特例による学校(生徒)の参加については、鹿児島県高等学校新人体育大会開催基準要項の「参加資格の特例」並びに「大会参加資格の別途に定める規定」とおりとする。

10 参加申込 参加申込みに際しては、「個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。

- (1) 申込締切日 令和4年9月21日(水)16:30までに必着
- (2) 申込方法 当該学校長の責任において、所定の参加申込書により、2部(1部は写しでも可。)作成し、封筒に競技名を朱書きして申し込む。
また、選手名簿のデータ(エクセルファイル)を下記アドレスに送信する。
[kakinoki-chie@edu.pref.kagoshima.jp](専門委員 柿木千枝)
- (3) 申込先 〒891-0141 鹿児島市谷山中央八丁目4番1号
県立鹿児島南高等学校内 県高体連事務局宛 (Tel 099-268-8391)
- (4) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合は、速やかに専門委員長に連絡をし、大会出場辞退届を県高体連事務局に提出する。

11 大会参加負担金 (1) 参加申込生徒一人当たり500円とし、参加申込書に記載された選手数(マネージャー等は除く。)を乗じた額とする。なお、大会直前に選手の追加があった場合は、選手数に加える。

(2) 団体戦と個人戦を実施する競技については、参加を予定とする実人数とする。(重複しての徴収はしない。)

(3) 大会参加申込後に体調不良等により大会に参加しなかった選手がいても、参加申込書に記載された選手数分の金額を徴収する。

(4) 大会参加負担金は、後日、高体連事務局から各学校に請求する。

12 競技種目 (1) 男子……団体組手・団体形・個人組手・個人形
(2) 女子……団体組手・団体形・個人組手・個人形

13 表彰 団体組手・形4位、個人組手各階級2位または3位、個人形4位まで表彰する。

14 監督会議 (1) 日時 10月14日(金) 8時45分～
(2) 会場 鹿児島県総合体育センター体育館

15 組合せ 9月23日(金)午前9時から甲南高校(予定)において専門部で組合せを行う。
各チームの監督は組合せ会に出席してもよい。組み合わせ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。

16 組手競技 (1) 団体組手について(5人制、3人制共通)

① 団体組手は5人制と3人制のいずれか一方のみ参加することができる。

② 登録されたメンバーの中で、試合毎にオーダーの交替ができる。

③ 団体組手の出場人数が同じ場合、オーダー順は前から詰める。

④ 団体組手の出場人数が異なる場合、オーダー順は人数の多い学校が前から詰めて、人数の少ない学校が相手チームの人数内でオーダーを組むことができる。

⑤ 団体組手競技で一度負傷によって棄権した選手は、当日以後の団体組手競技には出場できないが、個人組手には出場できる。

【 5人制について 】

- ⑥ 男子5名（補欠3名）、女子5名（補欠3名）とする。
- ⑦ 上位4チームで決勝リーグを行う。
- ⑧ 出場校が10校未満の場合はリンクトーナメント制を取り入れることもある。
- ⑨ 5人制は規定の5人に満たない場合でも過半数（3人）の選手で成立する。

【 3人制について 】

- ⑩ 男子3名（補欠1名）、女子3名（補欠1名）とする。
- ⑪ 出場校数に応じて、リーグ戦またはトーナメント戦で行う。
- ⑫ 規定の3人に満たない場合でも過半数（2人）の選手で成立する。

(2) 個人組手について

- ① **1校6名以内**とする。ただし、補欠は認めない。
- ② 男5階級、女子4階級の体重制とし、階級表は以下の通りとする。なお、一つの階級のエントリー数の上限は4名とする。

男子個人組手		
A	-55Kg級	56.0Kg未満
B	-61Kg級	55.0Kg以上62.0Kg未満
C	-68Kg級	61.0Kg以上69.0Kg未満
D	-76Kg級	68.0Kg以上77.0Kg未満
E	+76Kg級	76.0Kg以上
女子個人組手		
A	-48Kg級	49.0Kg未満
B	-53Kg級	48.0Kg以上54.0Kg未満
C	-59Kg級	53.0Kg以上60.0Kg未満
D	+59Kg級	59.0Kg以上

着衣分として、0.5kgと計測器測定値幅として、±0.5kgを考慮した、当日の測定値幅を左記のように定める。
計量は1日目の午前中に行う。なお、団体・個人形競技出場者は競技終了後に行う。

- ③ 計量の服装は男女ともに上衣はTシャツ（半袖）、下衣はスパッツ（ハーフサイズ）とする。包帯、サポーター等の着用は一切認めない。
- ④ 計量をパスしなかった場合は「棄権」となり、個人戦には出場できない。ただし、団体戦には出場できる。

(3) 安全具（高体連指定）の着用

女子……ニューメンフォー・拳サポーター・ボディプロテクター・シンガード・インステップガードの5点セット
男子……女子の安全具にセーフティカップを加えた6点セット

(4) 安全具の不備な選手は参加を認めない。

17 形 競 技

- (1) 個人形は、1校2名以内とし、個人戦の補欠は認めない。
- (2) 個人形はすべて得点制とし、第1Rは指定形、第2Rは得意形、順位決定戦は第2Rで使用しなかった得意形の中から選ぶ。
- (3) 第1Rで同点があった場合は、再試合をせずに次へ進出させる。第2Rの1位から4位以内で同点があった場合は、再試合を行う。その際の形は、第2Rで演武しなかった得意形または指定形とする。なお、第1Rで演武した形を選んでもよい。
- (4) 団体形は、男子3名（補欠3名）、女子3名（補欠3名）で得点制とする。予選は指定形、決勝は得意形の中から選ぶ。

18 その他

(1) 九州大会の出場について

男女共、団体組手・形4位、個人組手各階級1位と2位または3位(階級のエントリー数に応じて出場数を決定)、個人形4位まで。※ 棄権に伴う繰上げ出場は認めない。

(2) 競技者の道衣は純白とし、左胸に校名、左肩に県名を必ずつける。その際の校名、県名は黒、紺、スクールカラーとする。道着に入れる氏名は黒色のみとする。

(3) 決められた場所(胸の学校名、袖の県名、上着・下着の名前)以外に刺繍することは禁止とする。名前を入れる場合は、自分の姓(名字)またはフルネームが望ましい。

(4) 上着は必ず脇に紐のあるものを着用する(胸紐は付けてはいけません)。袖の長さは手首までとし、前腕の中ほどより短くてはならない。上着の袖をまくり上げてはならない。

ズボンの長さは、踝がかくれてはならない。少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、裾をまくり上げてはならない。

また、空手道衣の袖の空き、ズボンの空きは8~20cmでなければならない。

(5) 帯でウエストを締めたときの上着の長さは、腰を覆うほどの長さとし、大腿部の4分の3までとする。運用としては、帯を締めた状態で真直ぐに下ろした時の上着の長さが膝の上10cmまでとする。

(6) 申込書不備の学校、個人については申込みを受け付けない。

(7) 選手の頭髪等

染毛、パーマ、極端な長髪は禁止する。(女子はヘアピン、リボンを禁止する。)

(8) 健康管理

① 競技中の傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

② 故障者については、監督の責任で出場を取り止めること。

③ 参加者は健康保険証を持参すること。

(9) 眼鏡での出場は認めない。ただし、コンタクトレンズ(ソフト)は認める。

(10) 会場や観覧席を汚さないよう各校とも責任をもって処理すること。